

つなぎ、支え、前進する — One Healthメンター制度 —

メンターインタビュー

ダイバーシティの事業では、研究者支援の一環として産学横断型キャリア相談窓口およびメンター制度があります。メンター担当の先生方は、研究者のしあわせなキャリアを応援する『しあキャリ応援隊』です。研究者の皆さんにこの制度をもっと身近に感じていただき、気軽に利用していただくため、『しあキャリ応援隊』の先生方にインタビューを行っています。

Vol.9 小竹 佐知子 先生

日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品
科学科 食品工学教室 教授

プロフィール

1991年 お茶の水女子大学大学院人間文化
研究科人間環境学専攻博士課程修了 博士

1991年 山梨県立女子短期大学 専任講師

1993年 山梨県立女子短期大学 助教授（オ
ランダ Wageningen 農業大学招聘研究員）

2002年 日本獣医畜産大学（現：日本獣医
生命科学大学）助教授

2018年 日本獣医生命科学大学 応用生命
科学部 食品科学科 食品工学教室 教授



私の研究テーマ

大学4年生の卒論時に所属した研究室で「調味料の拡散」について取り組んでから、その後、在外研究（オランダ）では「香気の拡散」に発展しました。まさか、これほど長く、「味や匂い」についてかかわるようになるとは、卒論時代には想像だにしませんでした。また、オランダ在住時に『アンネの日記』をオランダ語で読む機会があり、今では、アンネが食べた食事を調査することも研究ターゲットとなっています。研究者として、長く付き合え

るテーマに巡り合ったことに、感謝しています。

私の子どもどものとき

共働きの両親のためか、幼いころから一人遊びや一人考え事をする癖がついたのかもしれませんが。というわけで、人と一緒に何かすることは苦手ですが、これではいけない・・・と思い、他人とのコミュニケーションを心掛けるようにしています。



**日々のひそかな楽しみ、
実はスーパーで…**

専門（食品科学）のせいで、スーパーマーケットのレジに並んでいる時に、前の人や後ろの人の買い物かごの中を（気づかれないように）ガン見し、その人がどのような食生活を送っているのかを想像するのが楽しいルーティンになっています。

女性・若手研究者へのメッセージ

自分に向けての言葉にもなりますが、人生で巡り合う様々なことにアンテナを巡らせ、自らの豊かな人生につなげていけたらいいですね。

2023年5月24日

